

## 倍加が目的

人口増加よりも速く教会成長を望むのなら、私たち教会は倍加されていかなければなりません。



仮に一人の伝道師が一日に1000人の人々を救いに導いたとしても、世界全体が救われるには37000年かかるでしょう。

それに対し、もしキリストの弟子達が外に出て行き、まず一人を弟子とし、今度はその弟子が別の人を弟子とするという形で弟子が繰り返し産み出されていけば、37年で全世界に福音を伝えることが可能です。

1

## あなたに伝えたいこと

### シンガポールの教会開拓

あなたにできることです。シンガポールなので、年が若くても若くなくても、学歴があってもなくても、都市でも田舎でも、社交的であってなくても、経験があってもなくても、倍加していく形のシンガポールの教会を開拓していくことで非常に大きな影響を与えることができます。

### 今までにない新しさ

神さまから離れている人たちに非常に大きな影響を与えることができます！弟子が産み出され続けていく教会を開拓することが、イエスさまの福音を伝えていく最も効果的な方法であると世界中から報告されています。

2

3

# ドイン・レーン・ワグネル ポケットブック 教会開拓



**動き出しただけならまだいい**  
あなたも福音の冒険旅行という神さまのスタートラインに参加できます。教会を開拓していく教会が始まると、その運動はやがて制御できなくなり、勢いよく教会開拓が飛んでいきます。もちろんそれは私達ではなく聖霊さまの手に中々にあります。

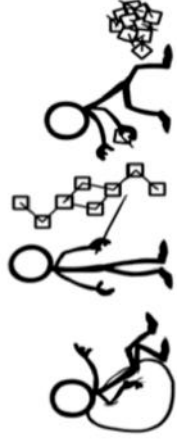
**カラフルな新しい世界**  
どこでもできることです！シンガポールでさまざまな人種・文化の中で誕生し、アメリカのカキヤンパスでも、読み書きできない間でも、アジアの巨大都市でも、ピジネン街やヒョーシンでも、行われたいです。人が喜ぶ運動に専念するならばどこでもイエスさまの愛を分かち合えます。

た自身がその場所へ出て行き、友達を作っていくのです。

### 3. 弟子とする

人々を弟子としていきます。あなたの時間と精力を相手の人生に注いでください。相手がいエエさまのことで、あるいはイエエさまに従いた捧げるまで、あるいはイエエさまに頼まないという願いを持つまでは何もしないということはせずに、一個人として尊重して相手に時間と精力を注いでください。「弟子とす」ということにはある意味で伝道のこととであり、有意義な人間関係を築いていくことでもあります。それは人々が個人的にいエエさまに出会い、やがてイエエさまを愛し、イエエさまに従っていきけるように、イエエさまのことを紹介していくことです。他の国々に出かけていく特権が与えられてあることを、つまり神さまの宣教のご計画が彼らの内に霊的DNAとして組み込まれていることを強調してください。

7



### 使徒行伝に沿った働き

新約聖書の理念に従って活動します。次々に拡がっていく教会開拓モデルは、直接、福音書と使徒行伝から導かれた方法です。従って聖書に基づいています。

### あなたなしでも存続していける

持続可能な戦略的宣教活動の一部として参加してください。地元の信徒を強め、やがてはあなたがいないまでもやっていけるように宣教してください。可能な限り速やかに自分の働きを終えられるように取り組んでください。

4

6

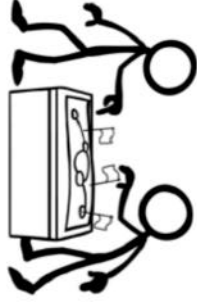
2. 人と知り合う  
人と知り合ってください。しかもその人がいる場所で知り合ってください。イエエさまのことを知らない人たちと時を過ごしてください。安全だけれども孤立しているクリスチャン同士の内輪から抜け出してください。チーム内の課題に取り組みたいという誘惑や感情的な願いに抵抗してください。そのためにも多くの時間とエネルギーが奪われてしまいます。イエエさまに従っている人たちが存在しない局地的な場所を探してください。そこで人と知り合いになる際には、相手をその場所から移して（その場所の外にいな）あなた自身の知り合いと合わせるということはいかがでしょうか。



### 5つのステップ

#### 1. 祈る

人々のために涙を流すようになるまで祈ってください。断食して祈ってください。祈りながら歩いて回ってください。神さまが見ているように見ることができ、神さまが感じていいるように感じるように感じることができ、祈るようなことができるように祈ることに願ってください。あなた自身が平和をもたらす者として接触している人たちの心と意思の扉を開いていけるようにお祈りください。その人たちの文化を理解し、愛していけるようにお祈りください。主が具体的な戦略を与えてくださるようにお祈りください。



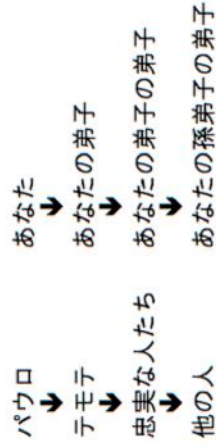
5

## 経験者が未経験者を指導していく

### 連鎖関係



あなたの周りだけに人々を集めていくのではなく、Ⅱテモテ 2：2「多くの証人の前では私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。」に沿って、経験者が未経験者を親身になって指導していく連鎖関係を確立していきます。



**4. 集める**  
あなたが知り合った人の中で霊的にオープンな人たちを集め、他の求道者と楽しく一緒に時間を過ごし、共通の趣味や祈りや祈りさまの御言葉を満喫していきけるようにしましょう。誰とどこでいつ集まるのかは、彼ら自身に決めてもらうことが時にはベストです。イエスさまの御言葉とお話に焦点を当ててください。その集まりを友人関係の集まりに移行することを、彼らがイエスさまに従っていききたいと告白するまで待つ必要はありません。食事を通して一緒に集まること、関係性を築き上げていくことの最善の方法です。イエスさまは二人でも三人でもご自分の名において集まる所にご自身と共におられると約束しています。これが最もシンプルで一番理想な形の「教会」なのです。教会として存在するのにそれ以外のことは何も必要ありません。健全で活発な教会として成長していくための助けになることは他にもあります（使徒行伝 2:42-47 を参照）。しかしながら、人を一所に集めることが教会開拓の第一歩なのです。

重度な中毒症の問題などで、古くからの友達から離れなくてはならない場合も稀にあります。しかし殆どの場合、クリスチヤンになる前の友人達から離れる必要はありません。あなたとイエスさまを仲間全体に紹介してくれる人を探しましょう。そして全く新しい人たちのグループを見出していく課程を楽しんでください。

新しく信仰を持った人たちに、クリスチヤンになる前の友人達と関係を続けていくよう励ましてください！あなたを取り巻く教会社会にその若い信仰者達を連れていくのではなく、あなたが彼らの世界に入ってきてください。彼らにあなたの友人を紹介するのでなく、あなたが行って彼らの友達と知り合いになるのです。あなたの行きつけの場所を彼らに見せてあげるのはなく、彼らの行きつけの場所を見つけてあなたがそこに行くのです。

## ネットワーク内での働き

### 5. 倍加させる

教会が成長していくように計画してください。最初から新しく信仰を持った人たちに集いや伝道での責任を持たせてください。あなたが自身はできる限り裏役に徹し、周りの人たちが霊的に成長し、彼ら自身の霊的賜物を駆使していくように励まし続けてください。教会生活が安定していく中であなたの自身の存在が大きくなり過ぎた時には、別の集まりを新たに計画し始めましょう。

## D グループ

### ABC方式

人を集めて集会を開くときには、以下の「ABC（名称はご自由に委ねてください）」の手順を踏んでください。Dグループの時間を3つ（ABC）に分けて、**それぞ**れが**確認している目的**を守ってください。Dグループは弟子訓練の基礎を固める助けとなります。ABC方式は容易に習得・実行でき、非常に伝達しやすい方式です。

### A- Ask：質問する（約束したことの確認から、短い口頭賛美&折り合いへ導く）

1. 「あなたが感謝したいことは何ですか。」と感謝すべきことを一つずつ挙げてもらいます。それから「それでは短い感謝の祈りをもって神さまに感謝する時を持ちましょう。」と賛美へ導きます。

14

13

51

2. 「あなたに何を尋ねたいですか？」

3. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

4. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

5. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

6. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

7. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

8. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

9. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

10. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

11. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

12. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

13. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

14. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

### B- Bible Study：神の言葉を尋ねる

1. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

2. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

3. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

4. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

5. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

6. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

7. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

8. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

9. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

10. 「あなたはどのようにして神さまに感謝したいですか？」

## 権限を与える

エペソ人への手紙 4：11-13「こうして、

キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を

預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師

または教師として、お立てになったのです。

**それは、使徒たちを建て上げて、**

**キリストのからだを建て上げるため**

**であり、ついに、私たちがみな、信仰の一致**

**と神の御子に関する知識の一致に達し、**

**完全にあなたにならなうようになり、**

**あなた自身にまで達する**

**ためです。教会的な権限を**



21

責任のレベルは後から高めていくことができます。しかし、私達は常に「今日私がこの人に伝授できることは何だろうか。」と自問していくべきです。

練のコースを修了するまで待たせる必要はありません。むしろキリストの弟子であることを認め、強めてください。神さまは若くて未熟な人をおおいに用いられます。未熟な人はその人自身がイエスさまによってどう変えられていったかを他の人に伝えられないとか、イエスさまに従うように勧められないとか、イエスさまを証しする逆、イエスさまとの個人的な証しをただちに周りの人に伝えていくよう励ましていくのです！

責任のレベルは後から高めていくことができます。しかし、私達は常に「今日私がこの人に伝授できることは何だろうか。」と自問していくべきです。

## 第二段階

**新約聖書で習慣として行われていたが、命令はされていないこと**

命令はされていない以上、クリスチャン一人一人にその習慣に留意するかしないかの自由が与えられています。使徒達自身が行い、認めていた習慣であるからには、それに従うことを禁じてはなりません。

## 第三段階

**新約聖書では習慣として行われていないかっ**

たこと  
伝統と化しているものに盲目的に従うように要求しては決してなりません。伝統のほとんどは良いことです。新約聖書の命令に従うことを妨げるような伝統は禁じてください。

## C- Commit (to pray and obey) : 約束の祈り & 従う約束

1. 祈る「今日学んだ真理を分かち合える3人の人は誰ですか。」(できればイエスさまにまだ従っていない人たちを挙げてもらいます。)「それでは今挙げてもらった人たちのために二人一組で祈りましょう。」
2. 従う「今日ここで学んだことから、私の生活はどう変わるのだろうか。私は次のことを約束します：          」以上の約束を分かち合い、決心したことが守られるようにお祈りします。
3. 練習する「各集会の終わりに必ず数分の時間を取り、その日に学んだ真理を祈った3人に伝える練習をしてもらうことが不可欠です。

19

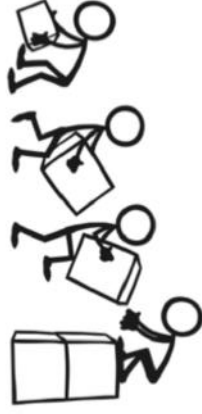
16

18

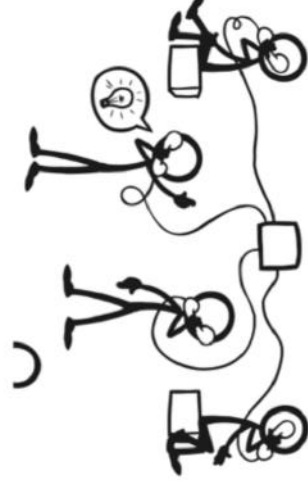
17

3段階の権威があることを、新しく信仰を持った人達に説明してください。そうすれば彼らは自分達で賢明な決断を始めることができます。

**第一段階**  
**新約聖書で命令されていること**  
投票や議論することなく押さまからの命令に従いましょう。最高権威者である押さまご自身からの命令です。新約聖書においてキリストと使徒達から求められている全ての働きが教会で忠実に果たされている時に、開拓が完璧であるといえます。



## 3段階の権威



おそらくあなたはスネジの箇所を飛ばしたり、この箇所は飛ばした方がグループの人たちには良いと弁明しようとするでしょう。この箇所を実際にはずしてしまおうと、教会が望み通りに成長することはありませ

## 7つの基本命令

べきです。後日後輩信徒に会い、自分の感想を伝えて、ほめて自信を与えます。

### Exit 退席する

先輩信徒は現場から離れて、新しい奉仕の場所へ移ります。今や後輩信徒は先輩信徒から愛ある助言と指導を受け、その兄弟あたるいは姉妹に依存することなく自力で立てるようになりま。この時点から二人の信

1. 悔改めなさい (そ) して 信じなさい

2. 洗礼を受けなさい

3. パンを裂きなさい (聖餐を守りなさい)

4. 愛しなさい (赦)

5. 祈りなさい

6. 与えなさい

7. 行って 弟子となさい



02

32

21

22

ニテ イーに 捧げて いく 勇気を ほめた ため

### View 観察する

後輩信徒が導く際に、先輩信徒が立ち会って観察します。先輩信徒は、徹して後輩信徒に自信を持たせ、他の人達の前で、その信徒が新たな活動分野へと前進してコミュニ



弟子訓練の目的です。

**Show 見せる**  
一つの領域で、より経験と知識のある先輩信徒が信仰的に若い後輩信徒にやり方を示してあげたり、知恵を伝授したりすることで、更に大きな信仰の従順に導いていきます。イエスさまの命令に従うことが全ての

は、続けてください。

先輩信徒が後輩信徒を直接指導することになるかもしれません。しかし後輩信徒は先輩から教わった時と同じ方法で別の人に教える必要はありません。先輩の立場にある人も、後輩信徒が最初上手でなくても気にしないでください。後輩信徒の心がオープンで、素直に教えを聞く態度があるのなら

他人を力づけ、それから次に進むことができます。あなたの仕事であることを常に忘れないでください。以下の順序に従っていきけば最初から正しい方向へ進むことができます。

S.A.V.E.

この小冊子を注文されたい方や、ご自身  
で教会開拓を始めたい方は、ぜひご連絡  
ください！

**お申し込み & お問い合わせ先**

All Nations Family, Inc.  
P.O. Box 55  
Grandview, MO 64030  
USA  
816-216-1353  
[www.allnations.us](http://www.allnations.us)  
[info@allnations.us](mailto:info@allnations.us)



**All Nations Family, Inc.**

PO Box 55  
Grandview, MO 64030  
(816) 216-1353  
[www.allnations.us](http://www.allnations.us)  
[info@allnations.us](mailto:info@allnations.us)